11　　み言葉は難しい　　　　　　　　　文法　注意したい訳し方の助動詞①

予、そのかみ、高松の女院の北面に菊合といふこと侍りしとき、恋歌に、

Ｘ　堰きかぬる涙の川の瀬を早みくづれにけりな人目つつみは

と詠めりしを、いまだ晴の歌などア詠みなれぬほどにて、勝命入道に見せ合はせイ侍りしかば、「この歌大きなる難あり。帝・后の隠れ給ふをば『崩ず』といふ。その文字をば『くづる』とウ読むなり。いかでか院中にて詠まＡん歌にこの言葉をば詠むＢべき」と申し侍りしかば、あらぬ歌を出だしてやみにき。

その後、女院ほどなく隠れエおはしましにき。この歌出だしたらば、さとしとぞ沙汰せられ侍らＣまし。

【本文チェック】

①　ア～エの用言の、文中での活用形を（　）に書きなさい。

ア（　　　　　　形）　イ（　　　　　　形）

ウ（　　　　　　形）　エ（　　　　　　形）

②　Ａ～Ｃの助動詞の、文法的意味・文中での活用形を〔　〕に書きなさい。

Ａ〔　　　　　・　　　　形〕　Ｂ〔　　　　　・　　　　形〕

Ｃ〔　　　　　・　　　　形〕

③Ｘの和歌の句切れに一か所、／を入れなさい。

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

１　予〔１〕　　 　　①（　　　　　　　）

２　いかでか〔５〕 　①どうして～か

②どうして～か、いや～ない

③（　　　　　　　　　　）

問２　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　なほ世の人の心をつつみて、北の方にはものも聞こえたまはず。　（うつほ物語）

ア　はばかっ　　イ　恥ずかしがっ

ウ　理解し　　　エ　嫌に思っ

（　　　）

２　白く降りつもりたる雪にも知らねば、雲もたどりて渡りかぬるかと、（正徹物語）

ア　～はず　　　　　イ　～ことができない

ウ　～をためらう　　エ　～に合わせる

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の傍線部の助動詞の、文法的意味と文中での活用形を答えよ。

１　心弱くゆるしつべき御さまかなと見たてまつりたまふ。（源氏物語）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

２　男はいづちともなく失せにけり。（宇治拾遺物語）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

３　あくがれにし魂の来たるなり。（夜の寝覚）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

問４　次の傍線部の説明として適当なものを、後から選べ。

１　よそ人だに見たてまつらむに心乱れぬべし。（源氏物語）

２　いつの間にか舟出しつらむと心得がたく思へり。（源氏物語）

３　さむしろに衣かたしき今宵もや我を待つらむ宇治の橋姫（古今集）

ア　助動詞「つ」＋助動詞「らむ」

イ　動詞の一部＋助動詞「む」

ウ　動詞の一部＋助動詞「らむ」

１（　　　）　　２（　　　）　　３（　　　）

問５　次の傍線部を現代語訳せよ。

１　清見が関の波も高くなりぬべし。（更級日記）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　うららかに言ひ聞かせたらんは、おとなしく聞こえなまし。（徒然草）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】調べてみよう

問６　現代社会でも「忌み言葉」というものがあり、その場の状況にそぐわない言葉を用いると、他の人から礼儀知らずだとたしなめられる場合もある。現代の「忌み言葉」を調べてその一つを挙げ、どのような場面で避けるべき言葉なのかを答えよう。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝未然　イ＝連用　ウ＝連体　エ＝連用

②　Ａ＝婉曲・連体　Ｂ＝適当・連体　Ｃ＝反実仮想・連体

③　堰きかぬる涙の川の瀬を早みくづれにけりな／人目つつみは

問１　１＝私　２＝なんとかして

問２　１＝ア　２＝イ

問３　１＝強意・終止形　２＝完了・連用形　３＝過去・連体形

問４　１＝イ　２＝ア　３＝ウ

問５　１＝きっと高くなるだろう　２＝きっと思慮深く聞こえるだろう

問６　観点　現代では、結婚式や葬儀の場などで避けるべき言葉として扱われることが多い。結婚式では別れや不幸を連想させる言葉、葬儀では重ね言葉が忌み言葉とされる。

【現代語訳】

問２　１　まだ世間の人の目をはばかって、北の方にはお近づきにならない。

２　白く降り積もっている雪のせいで夕方になったのもわからないので、雲も途方に暮れて（雪の峰を）渡ることができないのだろうかと、

問３　１　（こちらも）気弱くなり許してあげたくなるようなお方よと思い申し上げなさる。

２　男はどこへともなく消えてしまった。

３　さまよい出た魂が取りいているのだ。

問４　１　他人であっても（これを）お見受けしたならどうしてよいのかわからない気持ちになるに違いない。

２　いつの間に舟出をしたのだろうかと合点がいかなく思った。

３　に一人分の衣を敷いて、今宵も私が来るのを待つのだろうか、宇治の橋姫は。

問５　１　清見が関の波もきっと高くなるだろう。

２　はっきりと言い聞かせたなら、きっと思慮深く聞こえるだろう。